



快晴の下、東京湾をクルージング

護衛艦「ゆうぎり」体験航海実施



東京地本は、平成27年5月22日(金)に横須賀から晴海埠頭への回航を活用して護衛艦「ゆうぎり」による体験航海を実施した。

護衛艦「ゆうぎり」は、基準排水量3,500トンの護衛艦として1989年に就役後、様々な演習等に参加し、2010年・2012年にはソマリア沖・アデン湾で海賊対処行動に2回従事した。

体験航海当日は平日にも関わらず、約400名が参加した。体験航海実施間には、艦長(佐瀬智之2等海佐)の計らいにより、搭載のSH-60Jヘリコプターの見学や76mm速射砲、アスロック、短SAMの操作訓練が実施され参加者を強く引き付けていた。護衛艦の甲板から見る横浜の港、東京の街並みも美しく、約3時間の航海があつたという間に感じる程、充実したものとなった。

参加者からは、「護衛艦からみる東京湾内の景色がとても綺麗でした。」「初めて護衛艦に乗艦することができ、本物の持つ迫力を体感することができた。」「護衛艦内での海上自衛官の緊張感ある勤務姿を見ることで、海上自衛隊の仕事の一端を理解することができた。」等、多数の意見を頂いた。

乗艦者は、体験航海を通して、日常生活では味わうことができない護衛艦でのクルージングを満喫しているようだった。

東京地本は、今後も自衛隊を理解してもらえようとする装備品等を体験できる機会を、より多く提供し、魅力ある広報活動を実施していくとしている。

東京みなと祭に護衛艦現る

護衛艦「ゆうぎり」艦艇広報実施



行列を成す来場者



電灯艦飾



小松美咲さん



杜野まこさん

東京地本は、平成27年5月23日(土)、24日(日)に東京港晴海埠頭において開催された「東京みなと祭」に参加した。

東京みなと祭は、昭和16年5月20日(日)に国際貿易港として開港したことを記念して行われるイベントで、両日合わせて約90,000人の来場者が訪れた。

東京地本は、車両等の装備品展示及び広報ブースの設置だけでなく、今年度は、募集対象者ご家族に対する護衛艦「ゆうぎり」艦内特別公開と、一般来場者に対する一般公開も併せて実施し、来場した多くの方々に自衛隊をPRした。

特別公開には、募集対象者58名が参加し、艦橋・操縦室・居室を見学後、体験喫食として「ゆうぎり」特製カレーを食べ、目だけでなく胃袋も大満足で艦をあとにした。

一般公開には、両日とも長蛇の列ができ、延べ7,959人が乗艦した。長時間並ぶ来場者に対して、「ゆうぎり」の隊員による、手旗信号や喇叭の吹奏等が披露され、来場者の疲れを癒していた。乗艦後は、普段見ることのできない護衛艦の装備等を、興味深く見学する姿が多く見られた。見学後、「海外の活動にも参加している護衛艦の迫力は予想以上に凄かった。」や、「次回は是非動いているところが見たい。」といった声が聞こえた。

また1日艦長として、23日(土)はアイドル・女優の小松美咲さん、24日(日)はタレント声優の杜野まこさんがそれぞれ任命され、イベントに華を添えた。

さらに、23日(土)の19時から22時からの間、電灯艦飾が実施され、美しく輝く「ゆうぎり」が、晴海埠頭を彩っていた。

高機動車の体験試乗では、「ゆうぎり」の一般公開では味わう事のできない、装備品の動きを実際に体で感じてもらった。体験者からは「一般車両とは振動等が全く異なるので、大変いい経験ができた。」等の声が聞かれた。

装備品展示は、第一師団の支援を受け指揮通信車、軽装甲機動車、オートバイ、高機動車を展示した。来場者は、災害派遣等のテレビ放送で見たことのある車両に興味を持ち、実物に触れ、理解を深めていた。

広報ブースでは、自衛隊のイベントDVDの放映、南極の氷の展示、海上自衛隊から伝授された組紐体験、防弾チョッキ・制服等の試着を実施し、来場者は記念撮影を楽しんでいた。また、ネパール国際緊急援助活動等の写真パネルも展示し、来場者からは、「自衛隊の海外での活動のリアルさが伝わる写真で良かった。」といった声が聞かれた。

参加各団体6体のマスケットキャラクターを紹介するイベントでは、他の官公庁各機関のキャラクターと「トウチ君」がステージに上がり、来場者からの撮影等に応えた。愛くるしい姿のトウチ君は一際目立っており、来場者の心を掴むと共に、東京地本のPRにも余念がなかった。

両日を通じ来場者からは、「実際の装備品を見て、体感したことで、より自衛隊への理解を深めることができた。」「自衛隊への興味がさらに湧いた。」等の声を多く頂いた。

東京地本は、今後も様々なイベントの場を活用し、より多くの国民に自衛隊の魅力伝えていくとしている。